ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

平成27年7月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

2015年 July NO.50 7

Pick up 各地の復興へ向けた動き

久之浜・大久

久之浜・大久地区末続の遠藤豊さん宅。アジサイ咲き誇る初夏、多くの人が見事なアジサイをカメラに収めようと末続を訪れます。中には、「庭を見せて下さい」と訪ねてくる人もいるのとのこと。6月25日、奥さん正子さん（写真左から二人目）の案内で庭のアジサイを見て歩くグループの姿がありました。

四倉

2年目のアワビ試験操業
大浦公民館まつり

平

豊間小で特別授業再開
美空ひばり供養祭

小名浜

手作り講習会開催
いわき花火大会に向けて

勿来

ペットとの避難を学ぶ
写真で振り返る思い出

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます!(見方はP11)

アジサイ咲き誇る久之浜・大久

桜やツツジが咲く春を経て、季節は夏。例年より遅い梅雨入りとなった今年も、色とりどりのアジサイが咲き誇る季節がやってきました。

地区をあげてアジサイの育成管理を行っている末続。国道からJR末続駅への入り口や国道法面に加えて、多くの人が認めるアジサイの名所があります。それが末続字北向の遠藤豊さん宅。30数年前、祖父が庭を整備し山を切り開いてアジサイを植えたことが始まり。元々は、ツツジが植えられていましたが、花が咲く頃は田植えで忙しく、花を眺めて楽しむ時間がないからとアジサイを植えたとか。

「500本以上はあると思います。下草刈も一苦労。大変なものを残してくれたもんだ」と笑って話す豊さん。傍らで奥さんの正子さんが「大変だと思ったら続かないから、楽しみながらやらなくちゃ」と話します。

海竜の里センターや波立薬師などアジサイの見所が多い久之浜・大久地区。防災緑地づくり会議の四季彩部会では、アジサイなどを緑の地域資源として活用する景観の再確認が行われています。

波立海岸を臨む医王山波立寺。今年も多くの見物客が訪れています

一日、一日アジサイが見事になってきている末続です

大久川の土手と園内にきれいなアジサイが咲き並ぶ海竜の里センター

久之浜らしいおもてなしをアメリカ駐日公使の視察

6月12日、アメリカ大使館駐日公使ダーナ・ウェルトンさんがいわき市を訪問。清水市長との面会、四倉の〈チャイルドハウスふくまる〉を視察した後、久之浜を訪れました。

造成工事の進む町内、久之浜漁港、災害公営住宅久之浜東団地、浜風商店街を視察。そして、昼食のため公使が訪れたのは若松紀夫さんのお宅。テーブルには、メヒカリの唐揚げやタラの澄まし汁など久之浜らしい魚をふんだんに使った料理が並びました。「地元の人が日頃食べている食事がしたいとの希望がありました」と若松美星さん。

浜のご馳走を堪能した公使、「今度は一人でゆっくり来ますね」と笑顔で話し、次の視察先広野町へ向け久之浜を後にしました。

復興へ向けた動き

8月11日(火)開催決定 第2回浜の夏祭り

昨年、50年ぶりに盆踊りと花火大会が同時開催された浜の夏祭り。今年も開催が決定しました。

開始時間等詳細は、久之浜・大久地区 盆踊り及び花火大会実行委員会担当木戸さん ☎090-5206-6212

建設工事進む防災拠点施設(津波避難ビル)

久之浜・大久支所の持つ災害時の防災拠点機能と久之浜公民館の持つまちづくり機能を兼ね備え建設中の地上3階建ての防災拠点施設（津波避難ビル）。来年2月の工事完了と3月の供用開始を目指し工事が進んでいます。

防災拠点施設の完成予想図。ビルの愛称の検討も進んでいます

新しく生まれ変わる久之浜のシンボルとして工事が進む防災拠点施設

一本一本心を込めて 第2回防災緑地植樹祭

6月19日、中浜の防災緑地造成現場で植樹祭が開かれました。4月11日同様2,000本の苗木は、被災地支援を行う株式会社イオンの提供。全国のイオンから久之浜を訪れた50名と久之浜・大久の参加者総勢150名が植樹を行いました。

植樹の後は昼食も兼ねた交流会が開かれ、久之浜町婦人会による豚汁やうどんなどを皆で食べた参加者。その後、震災語り部石川弘子さんと阿部忠直さんによる体験談に耳を傾けていました。

沖縄からの参加者は、「ここで見聞きしたことを沖縄に帰っても家族や仲間に伝えていきたい」と感想を話していました。

CHECK! 動画が見られます!

季節も移ろい いよいよ夏へ　久之浜・大久

久之浜二小全校奉仕活動

久之浜二小で行われた全校奉仕活動。児童らは校庭の草取りを、そしてPTAと卒業生に加えて消防団員もホース操法の訓練も兼ねてプールの清掃を実施。炎天下の作業が続きました。

夏を前に照りつける太陽の下行われた久之浜二小の全校奉仕活動

CHECK! 動画が見られます!

たわわに実る夏の味

ブルーベリーの実もたわわに実り、夏の訪れを告げる〈ピコブルーベリー農園〉。6月26日、オープンを待ちかねた来場者が多数訪れました。同園のブルーベリーは70種類。8月下旬まで様々な味が楽しめそうです。

第21回ウォークラリー開催

6月21日、70名が参加し、震災後初となる久之浜地区子ども会育成会（木村理会長）主催のウォークラリーが開催されました。家族や仲間でチームを組み4㎞弱のコースを額に汗して歩きました。

チェックポイントにちなんだクイズも出され、楽しさいっぱい

CHECK! 動画が見られます!

2年目を迎えたアワビの試験操業

四倉採鮑組合長
新田　正 さん

四倉町内を12～13キロ走るのが日課の新田さん

昨年に引き続き今シーズンも、市漁協の県鮑雲丹増殖協議会に所属する11ヵ所の採鮑組合が、9月末までの予定で、市内沿岸部でアワビの試験操業を行っています。

6月16日、四倉採鮑組合の新田正組合長は、組合員と一緒に船で四倉漁港近くの漁場に向かい、素潜りで規定の数のアワビを採りました。

出港前、漁の準備をしながら「昔は港から漁場まで20分くらい泳いで行って、採ったアワビをかごに入れたら、また泳いで港まで戻ってきたんだけど、今は船だからあっと言う間です」と話します。

震災前まで使っていた船は津波で陸に押し上げられ、壊れてしまったため、中古の船を手に入れました。

「元々レジャー用の船だったから、幅が広くてスピードは出ないんだけど、漁船よりも安定感があるんです」

震災後は、入手した船で漁港内の作業に従事したほか、港に沈んでいる車があれば、潜水の経験を生かして車内の確認作業にも当たることも。

昨年、アワビの試験操業が始まった時には、「やっと漁のために海に潜れると思うと、胸が熱くなりました。やはりがれきの撤去で潜るのとは、気持ちが全然違うからね」と感慨深かったそうです。

「ただ、2年目に入った今年は、いつまで試験操業が続くのかという不安もあります。本格操業への見通しも立たないですし」と複雑な心境を吐露します。それでも「長年やって来た仕事だし、またアワビが採れるようになったことは嬉しい」と、新田さんは愛着のある四倉の海を見つめながら話しました。

漁場から戻り試験操業の成果を見せる新田さん

今年も大盛況の公民館まつり

6月28日、「第24回大浦公民館まつり」が開かれ、たくさんの来場者でにぎわいました。

芸能の部では合唱、民謡、フラダンス、エアロビック、伝統芸能などのサークルがステージ発表を行いました。

展示の部では絵手紙、つるし雛、木彫などのサークルが、日頃の活動で製作した作品を展示。来場者は熱心に見入っていました。

公民館前では手打ちそば、かき氷、おでんなどを販売するコーナーも設けられ人気を集めました。

ステージを盛り上げた芸能発表

CHECK! 動画が見られます!

エアロビックを披露する子ども達

CHECK! 動画が見られます!

バザーコーナーでは、掘り出し物を探す来場者が品定め

力作が多数展示された絵手紙サークルのコーナー

復興へ向けた動き

蜆川（しじみがわ）第2ポンプ場の工事について

四倉海岸で行われている海岸堤防の前出しと防災緑地の整備に合わせて、東二丁目の蜆川第2ポンプ場のゲートは、県いわき建設事務所によって、海側に約30m延伸する工事が進められています。

工事は既存の海岸堤防にあるゲートを撤去して、海側に新しいゲートを整備し、函路（かんろ）を延伸します。

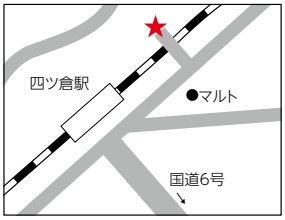
工事は今年8月下旬の完成を予定しています。

蜆川第2ポンプ場のゲート（6月22日撮影）

津波避難場所ガイド

●海嶽寺

- 住所／四倉町字鬼越119-1
- 面積／81㎡
- 海抜／15.6m



大浦小で「人権の花」の種まき

国からの委託事業「人権啓発活動地方委託事業市町村地域事業」の一環として、市が実施する「人権の花」運動は、花を育てながら思いやりの気持ちを育むことが目的。市内の小学校が対象で、今年度は大浦小学校が代表校に選ばれました。

6月10日、花の種などの贈呈式が行われ、福島地方法務局の職員や人権擁護委員などが同校を訪れ、6年生の児童代表にヒマワリなどの花の種とプランターを手渡しました。

プランターにヒマワリなどの種をまく6年生たち

四倉ピックアップ

よつくらぶが今年度の総会開く

今年度の活動計画などが承認されました

6月30日、チャイルドハウスふくまるで、NPO法人よつくらぶの第7回通常総会が開かれ、関係者など約30名が集まりました。

環境問題を考える出前講座

5年生が受講した市役所出前講座

6月5日、地球温暖化について考える市役所出前講座が四倉小で行われ、市環境企画課の職員2名が来校しました。

伝統を受け継ぐ子どもじゃんがら

今年から太鼓を任され、練習に励む5年生たち

最勝院で、上仁井田子どもじゃんがらが練習開始。中学生の元メンバーが手伝いながら、練習に励んでいます。

アメリカ公使がふくまるへ

来館者に気さくに話しかけるダーナ公使

6月12日、駐日アメリカ公使のダーナ・ウェルトンさんがチャイルドハウスふくまるを訪問。館内の施設を視察しました。

学校だより

豊間アカデミー開校

豊間小学校で放課後特別授業「豊間アカデミー」が始まりました。

学区内ではまだ復興工事が行われ、児童のほとんどがバス通学の状況のなか、児童の体力、学力の向上のために2年前からPTA主催で実施しています。

学習内容は算数、体育を中心に昨年度から始まった演劇やヒップホップダンス、プロの漫画家による漫画教室、福島高専によるサイエンス塾など幅広く行われます。

そのほか、県立博物館の協力で表現力を学ぶ「豊間ことばの学校」も予定しています。子どもたちが興味を持ち可能性を引き出す取り組みです。

６年算数担当は「渡辺英数塾」塾長渡辺稔先生

５年算数担当は「寺子屋卓塾」塾長馬上卓也先生

４年算数担当は前ＰＴＡ副会長の山廼邉綾子さん

体操教室担当は市内で体操教室を主宰する泉裕先生

演劇教室担当はフリーアナウンサーの出雲三和さん

漫画教室担当は地元出身漫画家の蛭田充先生

カードゲームで防災教育

6月10日、豊間小で防災教育授業が行われました。これは東北大の学生が災害時に自分の身を守る判断力を身につけるために、わかりやすく遊びながら学習できるように開発した「減災アクションカードゲーム」。遊び方は、かるた方式。「海にいると地震が起きた。あなたはどうしますか」と質問カードを読み上げ、3秒以内に答えのイラストカードを拾い「高いところに逃げます」などと答える形式となっています。「楽しかった。高いところに逃げないといけないとわかった」（2年生）「災害の時どうするのか再確認できた」（5年生）と児童たちの声も。自然と防災意識が身についたようでした。

ユニバーサルデザインでわかりやすい

防災リーダーとして表彰されました

開発に携わった東北大生の山田修司さん

カードを拾いイラストを見て回答します

CHECK! 動画が見られます!

津波避難場所ガイド

- 薄井神社
- 住所／平薄磯字北街
- 面積/177㎡
- 海抜/22.8m

お知らせ

【薄磯区・薄磯団地夏祭り】

8月2日　10：00～

・模擬店やビンゴ、マジックショーなどを予定しています。

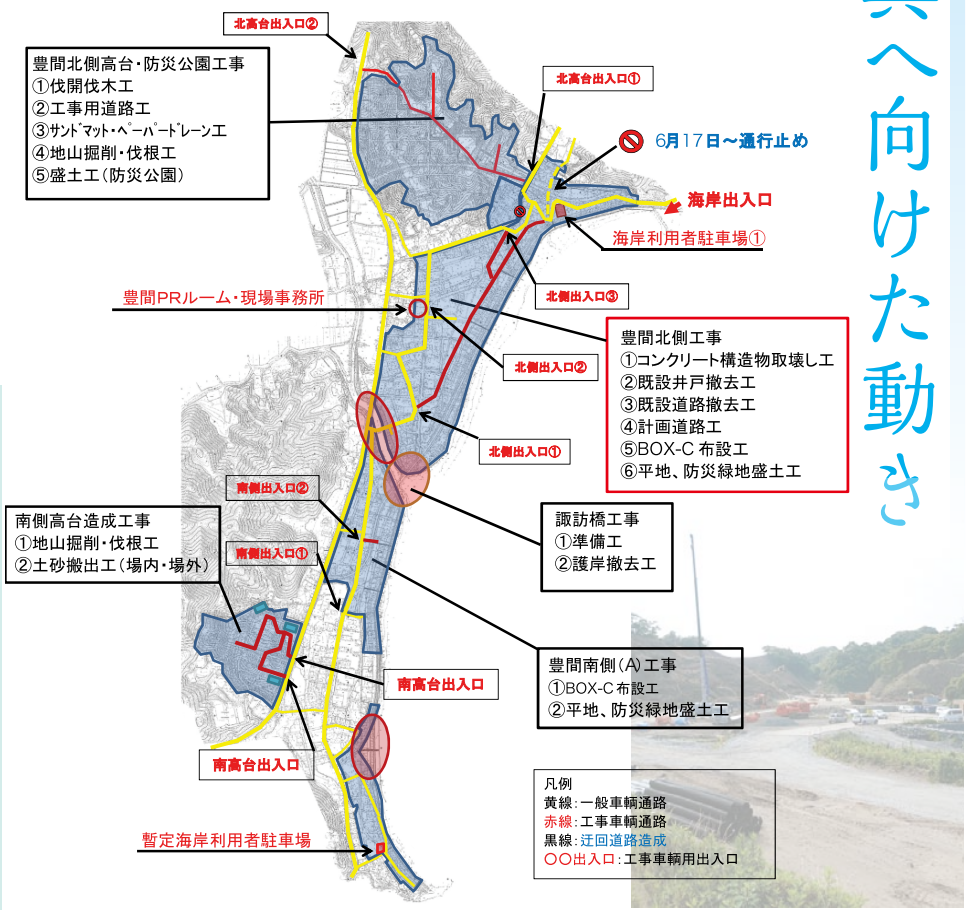
【とよマルシェで夏祭り】

8月8日　10：00～

・好間高校フラダンスチーム「ウイラニ・オーラバ」のダンスやビンゴゲームなどを予定しています。

豊間地区復興事業進捗情報

豊間では南側に続き北側高台の造成が進んでいます。
仮設道や通行止めなど通行に気を付けて下さい。



復興へ向けた動き

平地区ピックアップ

コロンビアから視察

6月23日、豊間団地集会所でコロンビアから12名の使節団が視察研修で訪れ、区役員から震災時の状況や復興事業の説明を聞いた後、現地視察を行いました。

現地視察では「とよマルシェ」や薄磯地域も訪れました

東京から支援ツアー

6月21日、豊間公民館に東京からの復興支援ツアー50名が訪れました。薄磯復興協議委員の室谷和範さんが震災時や復興状況などを説明しました。

いわき支援を続ける映画監督の秀嶋賢人さんが企画・実施

美空ひばりさん供養祭

6月21日、薄磯の「雲雀乃苑」で美空ひばりさんを偲ぶ27回忌供養祭が行われました。ひばりプロダクション加藤和也代表も参加し感謝の意を伝えました。

歌やダンスも披露され、賑やかな供養祭になりました

小名浜 元気めぐり
第62回いわき花火大会

いわき花火大会実行委員会

今年で62回を迎える「いわき花火大会」。震災の年、まだ港の復旧工事が不完全で、観客を入れるには危険を伴うため、港を立ち入り禁止にした上で、1号埠頭で花火を打ち上げました。翌年は台船を利用し、沖防波堤で打ち上げを実施。昨年は花火大会として完全復活。「震災復興のため、頑張ろうという気持ちが強かったですね」と、いわき花火大会実行委員会広報委員会委員長の上野台祐一さんは振り返ります。

同実行委員会メンバーは仕事が終わった夜に集まり会議をしています。昨年の花火大会後、すぐに安全対策などの話し合いを何度も重ねてきました。

今年の花火も競技花火や市民花火、創作花火の3部によって構成され、約1万発の花火の打ち上げを予定しています。

「今年は復興頑張ろうから脱却し、観覧者の方々に思いっきり花火を楽しんで欲しい。感動に包まれること間違いないので、ぜひ会場に来て見てもらいたいです」と、上野台さん。今年も港の夜空に大輪の花が咲く日のために、準備は着々と進んでいます。

まちづくりステーションで行われた花火大会の会議

福島丸、小名浜港に帰港

6月22日、小名浜港にいわき海星高校の海洋科3年と海洋専攻科、機関専攻科の計19名が乗った福島丸が61日間の漁業実習を経て帰港。第一次航海帰港式で海洋科3年の荷見(はすみ)拓也さんは「友情とチームワークの大切さを学び、ともに助け合い励まし合い貴重な日々でした」とあいさつし、保護者や学校関係者らに成長した姿を見せていました。

第一次帰港式であいさつをする荷見さん(右)

ハワイ南西海域で獲った26tのメバチマグロ

小名浜の夏のイベント

●おなはま海遊祭
日時　7月25、26日10時～
場所　アクアマリンパーク

●いわきおどり小名浜大会
日時　7月31日17時～
場所　県道小名浜・平線(鹿島街道)
　　小名浜支所～日産サティオ交差点間

●いわき花火大会
日時　8月1日19時～
場所　アクアマリンパーク
※荒天の場合8月2日同時刻に延期

●中之作朝市
日時　8月8日7時～
場所　中之作魚市場

●江名区盆踊り大会
日時　8月14日18時～
場所　江名港銅像前

復興へ向けた動き

小名浜高校までの避難路整備工事

地区の避難所である小名浜高校への新たな避難路を整備する工事に今年4月中旬から着手しました。神白川河口付近から小名浜高校へは、大きく迂回しないと向かうことが出来ないことから、避難距離や避難時間の短縮にむけて整備。同高校へ海浜部から最短で避難するための避難階段を南東側斜面に設置するものです。

完成は今年10月末を予定しています

江名中学校までの避難路整備工事

地区の避難所である江名中学校への新たな避難路を2ヵ所整備する工事に今年4月下旬から着手しました。同中学校は海に近い高台にあることから、住民の避難時における安全・円滑化を図るため、1ヵ所は体育館西側から上る避難階段を整備。もう1ヵ所は校舎北側にある既存の斜路を利用したスロープ式の避難路を整備するものです。

なお、完成は9月末を予定しています。

工事が進められている西側避難路

津波避難場所ガイド

●港ヶ丘公園

●住所／小名浜港ヶ丘29
●面　積　1,506㎡
●海　抜　26.2m

●冷泉寺

●住所／小名浜字古湊188
●面　積　277㎡
●海　抜　10.6m

小名浜ピックアップ

ラーメンおいしいね

肌寒い日でしたが、ラーメンを食べて温まりました

6月6日、永崎集会所で目黒にある〈塩ラーメンあいうえお〉経営の田中秀明さんたちが塩ラーメンを地域住民ら約100人に振る舞いました。

かつお祭、開催

かつおのあら汁を振る舞う

CHECK! 動画が見られます!

6月7日、〈いわき・ら・ら・ミュウ〉で第4回かつお祭が行われました。かつお商品が当たる抽選会やテナントでタイムサービスがありました。

なかよしタイム交流

ドッジボールを楽しむ児童と園児

6月10日、江名幼稚園の年長組12名が江名小学校を来校しました。ハンカチ落としや鬼ごっこなど遊びを通じて交流を深めました。

みんなで作品作り

講師は金成富美男さん(左)・礼子さん(右から3番目)夫妻

6月20日、江名公民館で、ちりめん細工とひょうたん細工講習が行われました。17名が参加し、ひょうたんランプやウサギを作り楽しみました。

アイデア・デザインを駆使して
人のため、町のために自分自身ができること

勿来町
秋元　政明 さん

「低予算でもアイデア次第で何でもできる」と語るのは、勿来町関田地区に在住の秋元政明さん。アーティストでありながら、デザイナーやプロデューサーを務める秋元さんの仕事は、建築デザインや舞台美術、キャラクター、看板のデザインなど多岐に渡ります。

今年6月には〈いわき芸術文化交流館アリオス〉内のカフェにて、自身が手がけた「うえだ笑店会マップ原画展」を開催しました。自転車で植田町内を回り、約2ヵ月かけて制作したという手描きのマップ。震災後、うえだ商店会から「町の復興のために何かできないか」と話を持ちかけられたのがきっかけでした。

展示会は以前、植田町にある㈲伊勢屋商店や、勿来支所でも実施しました。「ただ作っただけで終わるのではなく、多くの人の目に触れてもらうことにより、その町を知るきっかけづくりや活性化に繋げたい」というのが秋元さんの思い。

また、いわき市内の名店や名所を描いたマップも作成。年に1回発行しており、今年で3年目となります。そのほか、フラおじさんのオリジナルグッズ作成や、子どもたちへの美術指導など幅広く活動中。「いわきのためにできることを、デザインの力を使ってできる限りやっていきたい」。今後も秋元さんの活躍に、期待が膨らみます。

市内北部にも植田町を宣伝するため行った、アリオスでの原画展

建物やロゴ、ネーミングまで秋元さんが手がけた店舗

お知らせ

なこそ夏まつり　7月25日(土)17:10 ～

◆**サンバパレード**　17:10 ～17:50
植田パティオ通り

◆**いわきおどり勿来大会**　18:00 ～19:30
植田パティオ通り

◆**なこそ鮫川花火大会**　20:00 ～21:00
鮫川河川敷

※小雨決行。雨天の場合、翌日に順延されます。
※16時から22時の間、植田小学校および錦小学校のグラウンドが駐車場として開放されます。

四時ダムまつり　7月26日(日)9:30 ～

小浜♥小千谷
深め合った絆の数々

6月14日、「NPO法人おぢや元気プロジェクト」のメンバー5名が、小浜公民館を訪れました。これまでに交流を深めてきた際の写真をスクリーンで上映し、小浜のみなさんにプレゼント。思い出話に花を咲かせ、またひとつ交流を深めました。

プレゼントされたお気に入りの1枚を手に、笑顔を見せた参加者

冷たいおしるこや小千谷のそばも振る舞われ、和やかな1日となりました

復興へ向けた動き

磐城農業高校新校舎が完成

旧校舎が被災し、新築工事が進められていた同校。新校舎の完成を祝い、6月1日に開校式が行われました。

約1年10ヵ月の工事を経て、生まれ変わった校舎

勿来と双葉の共生コミュニティデザイン事業

6月22日に行われた第6回では、勿来地区の住民と双葉町の方々との交流を目的とした「勿来まちあるき」を企画。実行委員会が発足され、7月末に行う「プレまちあるき」のルートについて話し合われました。

なお、「勿来まちあるき」は10月上旬の実施を予定しています。

第6回 防災緑地利活用検討委員会

6月30日、第6回防災緑地利活用検討委員会が行われました。

前回から約5ヵ月が経ち、県職員が防災緑地の現状と以前からの変更点を説明。「芸術公園ゾーン」に整備されるステージの形状や、海へ降りる階段などに変更があり、意見交換が行われました。

また、今年度内に予定している関連事業についても報告。秋頃には地域住民を対象とした、防災緑地の説明会を開催する予定です。

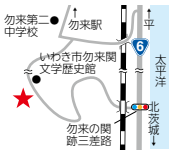
植樹用に昨年採取した、ドングリの苗木も用意されました

津波避難場所ガイド

●植田小学校校庭

●住所/東田町向山3
●面積/7,982㎡
●海抜/14.7m

●勿来の関



●住所/勿来町関田関山59
●面積/23,544㎡
●海抜/75.3m

勿来ピックアップ

「田んぼアートinいわき」

異なる色の稲を使い、田んぼに巨大な絵を描く「田んぼアート」の田植え作業が、6月7日に山田町で行われました。苗は磐城農業高校で育てたものを使用。7月下旬から8月中旬に見頃を迎える予定です。

協力した同校生徒のほか、地域住民など60名以上が参加

3回目となる苗木の採取

6月7日、防災緑地に植樹するための苗木の採取が、小浜町の那智神社を中心に行われました。採取した苗は、樹木医の木田都城子先生の指導のもとポットへ植え替えられ、約300鉢が集まりました。

植え替え作業の様子。芝浦工業大学の学生も協力しました

ペットも大事な家族の一員

6月13日、災害公営住宅四沢団地内にて「ペット避難講習会」が行われました。いわき「犬猫を捨てない」会代表の遠藤良志子さんを講師に、避難時に必要な物品や避難先での注意点などを学びました。

ペットを守るための知識と、飼い主同士の交流を深めました

いわき市 ふるさとだより 第50号
平成27年7月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまあじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ 「防災ラジオ」の給付について

市では下記のいずれかを満たす方に、防災ラジオを給付します。普段はラジオとして使用でき、スイッチがオフになっていても緊急連絡時には自動的に電源が入り、FMいわきの電波を利用して市からの緊急情報を受信します。

〈対象〉

- 身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級を所持する方
- 特定疾患医療受給者証を所持し重症認定を受けている方
- 障がいがあり、避難行動要支援者名簿に登録している方

〈申込方法〉

印鑑および身体障害者手帳などを持参し(代理の方でも可能)、各地区保健福祉センター窓口にてお申し込みください。

〈自己負担額〉

市民税課税世帯の方は、1,100円程度の予定(製品価格の1割負担)。市民税非課税世帯の方は0円。

【問い合わせ】
市障がい福祉課支援係 ☎0246-22-7485

新自治会長が決定しました

内郷雇用促進住宅 新妻 彰英会長

集会所が耐震化工事中のため使用できないなか、7名の女性役員とともに、住民や行政との良い関係づくりを目指していきたいです。

耐震化工事中の建物

❊プチ講座❊ なるほど！いわきの歴史コーナー Part.2

平の町名はほとんど江戸時代の地名?

平市街地は、中世の岩城家の町割り(現在の研町、材木町、古鍛冶町付近)を一部引き継ぎながらも、江戸時代初め、磐城平城藩に配置された鳥居忠政が、城郭内外に本丸や上・中級の侍屋敷を配置し、城下には下級の侍屋敷および町屋を割り振りました。平の場合、同じ職業に従事する職人が居住する町名の名残りとして、刀鍛冶が住んでいた鍛冶町や神主が住んでいた禰宜町などのほか、大工町や紺屋町など江戸時代の地名をほとんど引き継いでいるのが特徴です。全国で消えていった数多くの由緒ある地名を考えれば稀な例と言えます。

出典:「地名の変化にみる、いわきの近代化より」

できごと PICK UP

応急仮設住宅や災害公営住宅ほか市内各地のイベントやできごとを紹介

6月11日 笑顔いっぱいの演芸鑑賞 中央台高久第一応急仮設住宅

集会所に鹿児島県最大のボランティアグループ「さわやか会」の方々が訪れました。3度目の訪問となった今回は、歌や踊り、演奏、マジックが披露され、会場は大盛り上がり。「幸せと笑顔をありがとう」と激励の言葉がとび、市社会福祉協議会から感謝状が贈られました。

歌とパフォーマンスで笑いに包まれた会場

6月14~23日 上空から見るいわきの海岸線

平堂根町の〈ギャラリー界隈〉で、「かもめの視線で綴る塩屋埼灯台」写真展が開かれました。会場には、モーターパラグライダーによる空撮カメラマン・酒井英治さんの作品を35点展示。「塩屋埼灯台」を中心とした震災前後の写真をはじめ美しい景色を収めた作品に、訪れた人は見入っていました。

来場者へ写真のエピソードを話す酒井さん

各地の復興工事進捗状況

災害復旧工事
〈四倉漁港〉
5月末現在

災害復旧概要

- 岸壁復旧延長 約0.8km
  うち完成延長 約0.64km
- 防波堤復旧延長 約2.7km
  うち完成延長 約1.5km
- 工事期間 平成24年春～平成29年春(予定)

ふるさと伝言板

将来のライフプランを無料で個別アドバイス!

「住まいと暮らしの再建相談会」

◆日時 8月29(土)
①10:00 ②13:00 ③15:00 (各90分程度)
◆場所 小名浜市民会館
◆定員 9組 (各時間3組)

※お申し込みは開催日の3日前まで。
【予約・問い合わせ】 市ふるさと再生課 ☎0246-22-7437

ふるさとだよりの記事が動画でも見られます!

① COCOAR アプリをダウンロード
iPhone/iPad 「AppSTORE」から
Android 「Google Play」から

②インストール後、アプリを起動するとスキャン画面になります。
③スマホをかざして画像をスキャンします。
④認識するとコンテンツが表示されます。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください!
注)ネット環境によって表示に時間がかかる場合があります。